

自己評価結果公表シート（平成29年度）

学校法人育保学園 バンビーニくまのだ

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組み目標・計画

- ・保育者の資質の向上（研修）
- ・保育環境の見直し
- ・地域との交流を図る

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

| 評価項目 | 取り組み状況・結果 |
|---|---|
| ○研修 ・平成30年度の要領、指針等の改訂に向けての準備 ・自己評価に基づく課題を踏まえ、職員それぞれの専門性を高める | ・法人内で、教育要領・保育指針の改訂に関し、講師を招き、園内研修を行う事で、日々の保育の見直しを行った。 ・研修会に進んで参加し、研修記録にも全職員が目を通して学びを共有する事ができた。 ・自己チェック表や日々の保育の振り返りを基に自分の課題を見つけられるようにすると共に、各クラスで毎日発言できるような時間を作り、改善に心掛けた。 |
| ○保育環境整備 ・子どもが安心して過ごせる為の環境整備 ・子どもが自然に触れ、のびのびと活動できるよう環境の見直し | ・毎月担当を代えて行っている安全点検や、日々の生活・遊びの中で、気付いた点・危険箇所等をその都度話し合い、各自が持っている危険箇所リストに加えていく事で、意識ができるようにしていく。 ・子どもが日々の生活の中で自然に触れる事ができるよう、屋上に芝や草花を植え、また、季節毎に食物を育て収穫した。 ・いろいろな自然に触れる事ができるよう、園外保育を取り入れているが、天候等で実施する事ができない事が多かった為、回数を増やしていけるよう検討していきたい。 |
| ○地域と園の繋がり ・保育の専門性を活かした子育て支援を積極的に行う | ・地域の子育て中の親子が、孤立しないように定期的にお遊び会を実施し、子育て相談等も行っている。30年度、年間の回数を増やす。 ・地域とのつながりを密にする為、地域等の連絡会にも進んで参加し、情報交換している。 |

5. 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|-----------|---|
| ・保育の質の向上 | ・全職員が、一つ一つの課題について、自分の思いや考えを出し合えるよう工夫し、互いに保育の質を高めあえるようにする。 |
| ・保育環境の見直し | ・園外保育の回数を増やすと共に、新たに子ども達が遊べる身近な公園の検討を行う。 |